

熊本県感染症情報 (第25週)

県内154定点医療機関からの報告数 6/21～6/27

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	0	0
2	RSウイルス感染症	64	80
3	咽頭結膜熱	24	41
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	21
5	感染性胃腸炎	155	118
6	水痘	7	6
7	手足口病	162	127
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	1
9	突発性発しん	39	36

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	9	4
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	2	0
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	2	9
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	0
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

手足口病

報告数: 162件 (前週: 127件) 地区別: 熊本、山鹿、菊池 年齢別: 2歳 50件 (30.9%)

感染性胃腸炎

報告数: 155件 (前週: 118件) 地区別: 菊池、御船、八代 年齢別: 1歳 26件 (16.8%)

RSウイルス感染症

報告数: 64件 (前週: 80件) 地区別: 人吉、八代、熊本 年齢別: 1歳 20件 (31.3%)

【マダニによるダニ媒介感染症に注意しましょう！】

今週(第25週)は、ダニ媒介性感染症の報告が3件(今年累計: 20件)ありました(昨年同期累計: 5件)。3件のうち1件が重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、2件が日本紅斑熱でした。

ダニ媒介感染症には、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)のほかつつが虫病などがあります。重症化し、死亡する場合がありますので、マダニに刺されないようにすることが大切です。ダニ媒介性感染症を予防するため、山や森林などマダニ等が多く生息する場所に出かける際、屋外で作業される際は、以下の対策を行いましょう。

<ダニ媒介性感染症>

【SFTS】

発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)の症状が見られ、時に頭痛、神経症状(意識障害、けいれん等)、呼吸器症状、出血症状が見られます。治療法は対症療法となります。

【日本紅斑熱、つつが虫病】

主な症状は、発熱、発疹で、刺し口が見られます。治療法は、抗菌薬の投与になります。

<ダニ媒介性感染症の予防対策>

山や森林などマダニが多く生息する場所に入る場合には、肌の露出を少なくする。

- ・長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用することがポイントです。
- ・DEETやイカリジン(虫よけ剤の成分)を含む虫よけスプレーも有効です。

屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認する。

- ・特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、頭部(髪の毛の中)がポイントです。
- ・マダニは、人に取り付くと、吸着する場所を探して体表を動きまわります。マダニが吸着する前に、活動後すぐにシャワーを浴びることも有効です。

吸血中のマダニに気がついた場合、マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診する。

- ・自分で無理に引き抜くとマダニの一部が皮膚に残って化膿したり、マダニの体液が逆流することがあります。
- ・医療機関にマダニに咬まれた可能性があることを伝えてください。

野生動物や飼育している動物に注意する。

- ・野生動物は、どのような病原体を保有しているのかわかりませんので、野生動物との接触は避けてください。
- ・飼育している動物との過剰な触れ合い(口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝ること等)は控えましょう。
- ・動物のマダニは適切に駆除しましょう。飼育している動物が体調不良の際には、動物病院を受診することも必要です。

県のホームページ: <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/76323.html> (パンフレットも掲載しています。)

厚生労働省のホームページでも、ダニ媒介性感染症を含めた動物由来感染症に関する注意喚起が行われています。

熊本県感染症情報 (第25週)

報告期間	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	第22週	第23週	第24週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	5/3~ 5/9	5/10~ 5/16	5/17~ 5/23	5/24~ 5/30	5/31~ 6/6	6/7~ 6/13	6/14~ 6/20	6/21~ 6/27	5/31~ 6/6	6/7~ 6/13	6/14~ 6/20
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5	3
RSウイルス感染症	62	78	97	135	79	54	80	64	8,046	8,240	9,641
咽頭結膜熱	7	19	19	12	13	28	41	24	1,250	1,251	1,363
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	8	20	25	17	16	20	21	18	1,999	1,934	1,865
感染性胃腸炎	1.48	2.20	2.82	2.46	2.06	2.28	2.36	3.10	3.56	3.31	3.23
水痘	6	6	8	7	7	5	6	7	375	385	341
手足口病	0.12	0.12	0.16	0.14	0.14	0.10	0.12	0.14	0.12	0.12	0.11
伝染性紅斑	0	5	1	6	2	1	1	1	56	61	45
突発性発しん	22	28	41	43	36	36	36	39	1,424	1,390	1,365
ヘルパンギーナ	0	9	9	3	3	5	4	9	288	359	347
流行性耳下腺炎	3	2	0	2	1	1	0	2	183	161	200
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	2
流行性角結膜炎	1	2	9	7	5	5	9	2	129	141	141
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5	7
無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0	1	0	0	6	7	8
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	20	12	21
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

- 3類感染症
腸管出血性大腸菌感染症: 1件(今年15件)
- 4類感染症
重症熱性血小板減少症候群: 1件(今年8件)
日本紅斑熱: 2件(今年11件)
レジオネラ症: 1件(今年14件)
- 5類感染症
劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 1件(今年3件)
侵襲性肺炎球菌感染症: 1件(今年16件)
梅毒: 2件(今年52件)
百日咳: 2件(今年20件)

参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計
(令和3年(2021年)6月27日現在)
令和3年(2021年) 15人(患者:10人 無症状病原体保有者:5人)
昨年同期 5人(患者:4人 無症状病原体保有者:1人)

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。)

- 手足口病
- 流行性角結膜炎

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

手足口病 : 熊本市

【病原体検査情報】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2020/21シーズン(R2.8/31~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1 pdm(AH1 pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	17件	0件	0件	1件

呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R3.1/4~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
31件 (41件)	1件 (4件)	0件 (2件)	0件 (0件)	6件 (5件)	0件 (0件)
アデノウイルス	その他				
1件 (1件)	792件 (578件)				

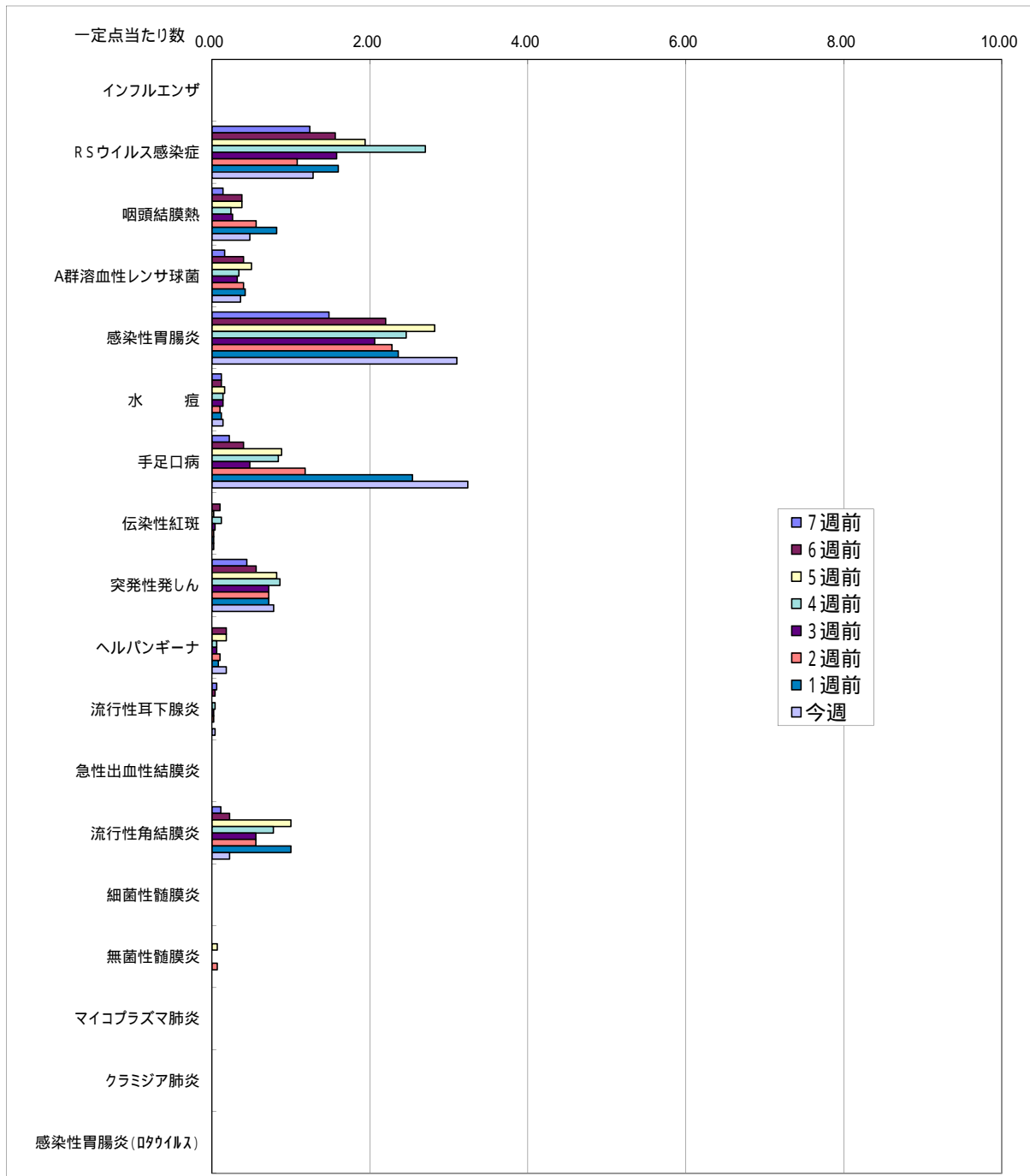
(かつこ内は昨シーズン累計)

感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R3.1/4~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
3件 (13件)	0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (1件)	3件 (5件)

(かつこ内は昨シーズン累計)

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。

保健所別発生状況 (インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

第25週

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0	31	5	7	45	2	115	1	11	2	0	0	2	0	0	0	0	0
2	山鹿保健所	0	0	0	0	7	1	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	菊池保健所	0	9	6	5	28	1	17	0	11	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4	阿蘇保健所	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	御船保健所	0	0	0	0	13	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	八代保健所	0	9	1	2	16	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水俣保健所	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	人吉保健所	0	9	0	1	9	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	有明保健所	0	0	2	1	13	3	7	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10	宇城保健所	0	1	7	1	14	0	7	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11	天草保健所	0	3	1	1	7	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	64	24	18	155	7	162	1	39	9	2	0	2	0	0	0	0	0

保健所別一定点当り患者報告数

	保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1	熊本市保健所	0.00	1.94	0.31	0.44	2.81	0.13	7.19	0.06	0.69	0.13	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	山鹿保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	3.50	0.50	4.00	0.00	0.50	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	菊池保健所	0.00	1.80	1.20	1.00	5.60	0.20	3.40	0.00	2.20	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	阿蘇保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	御船保健所	0.00	0.00	0.00	0.00	4.33	0.00	2.33	0.00	0.33	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	八代保健所	0.00	2.25	0.25	0.50	4.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7	水俣保健所	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
8	人吉保健所	0.00	3.00	0.00	0.33	3.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9	有明保健所	0.00	0.00	0.40	0.20	2.60	0.60	1.40	0.00	0.80	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	宇城保健所	0.00	0.25	1.75	0.25	3.50	0.00	1.75	0.00	0.50	0.25	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	天草保健所	0.00	0.75	0.25	0.25	1.75	0.00	0.00	0.00	0.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平均	0.00	1.28	0.48	0.36	3.10	0.14	3.24	0.02	0.78	0.18	0.04	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

